



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和4年(2022年)4月28日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人



「みんなでいっしょに」ニ小スタイルのSDGs

校長 小林 理人

温かいピンクから鮮やかな新緑に季節の色が変わりました。今年もフカフカの芝生で仲良くなった友達や先生と元気に遊ぶ子供たちの笑顔があふれています。

右のポスターは昨年度、国立市で開催された「SDGs全国こどもポスターコンクール」で特別審査委員会テーマ賞を受賞した4年生児童の作品です。

この児童はテレビなどで職業を選ぶ際に男女差別があることを知り、男女問わず自分が好きな仕事に就くことができるようにしたいと考え、その思いをみんなに伝えるためにこのポスターづくりに取り組んだそうです。

ニ小スタイルのSDGs

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標です。世界規模の問題になっている環境問題・差別・貧困・人権問題といったことを2030年までに解決していこうという計画・目標です。そして、「誰一人取り残さない」ことも取組目標とし、持続可能な社会の実現をめざしています。

SDGsについては各教科の学習はもちろんのこと日常生活の様々な場面で取り上げられることが多く、この児童のようにこのことを自分自身の目標として関心をもって調べたり生活の仕方を工夫したりしている子供も増えてきています。

目標達成の期限となる2030年が目前に迫り、いよいよカウントダウンが始まりました。そして、地球温暖化の問題はもちろんのこと、コロナウィルスとの共存や国際紛争など地球規模の課題が私たちにとって切実な問題として目に見えるようになってきています。

また、本校も含めて国立市で取り組んでいるフルインクルーシブな社会(みんなで一緒に支えあう社会)の実現をめざした取組などSDGsの目標達成につながる価値のある行動も始まっています。冒頭に紹介したポスターコンクールもその一つです。

そこで、本校では今年度からこのSDGsの目標達成に向けた行動を学校全体の課題として取り組むことにしました。その初年度になる今年度はSDGsの理解が中心になります。まずは、「今何が問題になっているのか」や「私たちがすべきことはどんなことなのか」など現状を教職員と子供たちが一緒になって学び、私たちがすべき行動について考えを出し合います。

先週(21日)は5,6年生が総合的な学習の時間にSDGsの学習をしました。国立市内でSDGsの実現のための事業を先進的に進めている「子ども大学くにたち」から講師の先生をお招きしてSDGsに関するお話を伺いました。子供によってSDGsについての知識や意識には大きな差がありますが、身近な学校生活や家庭での生活の中にあるSDGsの目標達成につながる行動や環境のお話を夢中になって聞いていました。そして、中には自分たちにできる行動について考え始めている子供もいました。今日、3,4年生が同様の学習を行いました。

今後は、これまで二小が進めてきた取組やそれぞれの学年が予定している学習や活動とSDGsの目標達成に向けた行動を関連付けて進めていくこととなります。「今できる最善を考え、みんなでいっしょに行動する。」これまで二小が大切にしてきた行動様式です。このニ小スタイルを大切にしながらSDGsの目標達成に向けた行動を考え、実行していきます。